

編集後記

今シーズンは雪が多い年でした。北海道や新潟では一時的な猛吹雪にて、車が道路上で埋もれる珍しい事故も発生しました。東京でも珍しく2回の積雪がありました。山々の積雪の様子はいかがでしょうか。

米国に続いて日本でも政権交代があり、民主党が日本のかじ取りの責任を負うことになりました。米国も日本も地球温暖化防止には積極的な政策を取ろうとする意思を感じます。なんとか地球温暖化に歯止めがかかって欲しいと思います。

そのような中、今年も3月に「山のトイレを考えるフォーラム」を開催することになりました。11回目となります。継続することの大切さ、大変さを感じていますが、多くの皆さんに支えられて頑張っています。

今回の資料集第一部では、フォーラムのテーマである「改めて北海道の山トイレ事情の今」を討議するために4つの山域から話題を紹介頂いています。大雪山系・十勝連峰の山トイレ事情を黒澤様より。知床連山での携帯トイレ利用について滝澤様より。利尻山での携帯トイレ普及活動のことを岡田様より。長年の日高・幌尻山荘の御苦勞を今年も高橋様より紹介頂きました。皆さん時間がなかったにもかかわらず、力作を寄稿頂きました。ありがとうございました。

第二部の資料編には、全国からいろいろの話題を頂戴できました。北海道山岳界の大先輩であり「北の山脈」編集委員だった今村様から大雪山国立公園についての提言を頂いたことは望外の喜びでした。北海道大学の愛甲様からは大雪山における研究の成果の紹介がありました。北海道山岳連盟殿が美瑛富士避難小屋の清掃登山をされた報告を菅原様から転載許可を頂きました。利尻町の佐藤(雅)様からは継続して記録に残す大切さを利尻山山岳年報として寄稿頂きました。神奈川工科大学の森様からは環境省の環境技術実証事業の山岳トイレWGの活動結果を紹介頂きました。NPO 飯豊朝日を愛する会の井上様より飯豊連峰の山岳トイレ事情と地域での協働の重要性を紹介頂きました。北海道でも見習いたいものです。神奈川県自然環境保全センターの井田様より丹沢大山地域の山岳トイレ維持管理の話題を紹介頂きました。屋久島野外活動総合センターの小原様には揺れ動く屋久島の山岳トイレ事情を紹介頂きました。北海道の樋口様から自然保護運動の大切さを寄稿頂きました。編集期限の関係で、北海道上川支庁の小室様から寄稿頂きました黒岳バイオトイレの運用状況の報文が巻末に掲載となりましたことをお詫び致します。皆さん本当にありがとうございました。

また、私達が忘れてはならないことがありました。昨夏(09年7月)トムラウシ山で大遭難事故が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。この遭難事故について山岳雑誌「岳人」の岩城史枝様の署名記事の転載許可を頂き掲載することが出来ました。ぜひ一読をお薦めします。

この11回目の資料集を、例年通り皆様のお手元に届けることが出来る喜びと共に、少しでもお役にたてるようにと願っています。

(小枝正人)